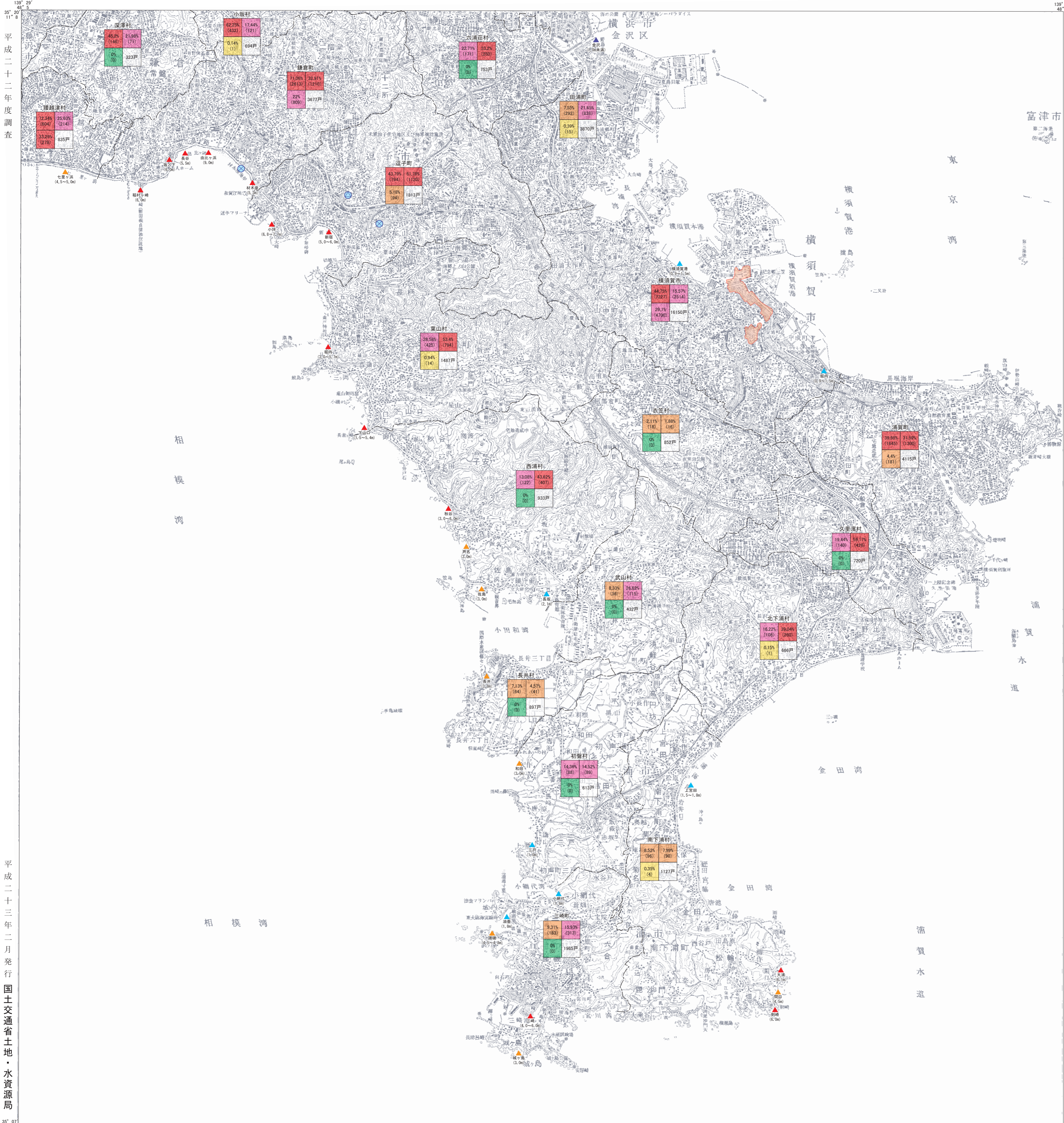


平成二十二年 度 調 査



凡 例

1. 大正12(1923)年関東地震における建物被害

①全潰率(全潰数) ※全潰率=全潰数/全戸数	横須賀市 44.75% (3227)	②半潰率(半潰数) ※半潰率=半潰数/全戸数	15.57% (2524)
③焼失・流失・埋没率 (焼失・流失・埋没数) ※焼失・流失・埋没数 =焼失・流失・埋没数 /全戸数	29.1% (4700)	16150戸	④全戸数

	①全潰率	②半潰率	③焼失・流失・埋没率
			30%以上
			10 - 30%
			1 - 10%
			0.1 - 1%
			0.1%未満

【資料】
藤井孝文・武村雅之(2002) 関東地震(1923年9月1日)による木造住宅被害データの整理と震度分布の推定. 日本地震工学会論文集, 2(3), p.35-71.

2. 大正12(1923)年関東地震における液状化地点

- 町村名や大字名など、複数の集落で構成される地域名で特定される地点
- 集落名や町丁目など、地区名で特定される地点
- ⊗ 番地や集落内の小字名など、地点に近い情報で特定される地点
- 正確な範囲が特定されている地点
- 正確な位置が特定されている地点

【資料】
若松加寿江(2011) 日本の液状化履歴マップ 745-2008(DVD-ROM付き). 東京大学出版会, 99p.

3. 大正12(1923)年関東地震における津波の高さ

- ▲ 5 m以上
- ▲ 3~5 m
- ▲ 1~3 m
- ▲ 1 m未満

【資料】
神奈川県(1985) 神奈川県地震被害想定調査報告書(津波被害).
【注】
津波記号は上記資料をもとに、旧版地形図上の地名に近い海岸付近に表示した。

4. 大正12(1923)年関東地震における焼失区域

■ 横須賀市の焼失区域

【資料】
横須賀市震災誌刊行会(1932) 横須賀市震災誌, 横須賀市震災要図.

(その他)

— 大正9(1920)年の市町村界

【資料】
国土計画局(2010) 国土数値情報, 行政区域データ, 大正9年.

平成二十三年 二 月 発 行 国 土 交 通 省 土 地 ・ 水 資 源 局

摘 要

- 経緯度の基準は世界測地系
- 投影はユニバーサル横メルカトル図法、座標帯は第54帯、中央子午線は東経141°
- 作業機関 東京カードグラフィック株式会社
- 背景地図 数値地図50000(地図画像)平成12年修正
- 対応する二次メッシュコード 523954.523955.523964.523965.523974.523975

行政区画

索引図

藤 沢	(東 京)	横 濱	木 更 津
平 塚		富 津	
		(横 須 賀)	那 古
			館 山

()内は所属20万分1地勢図名

神奈川県
1. 藤沢市 2. 鎌倉市 3. 横濱市 4. 逗子市
5. 三浦郡 6. 横須賀市 7. 三浦市
千葉県
8. 富津市

この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図、数値地図50000(地図画像)、数値地図25000(土地条件)及び基礎地図情報を使用した。(承認番号 平成22業使、第703号)